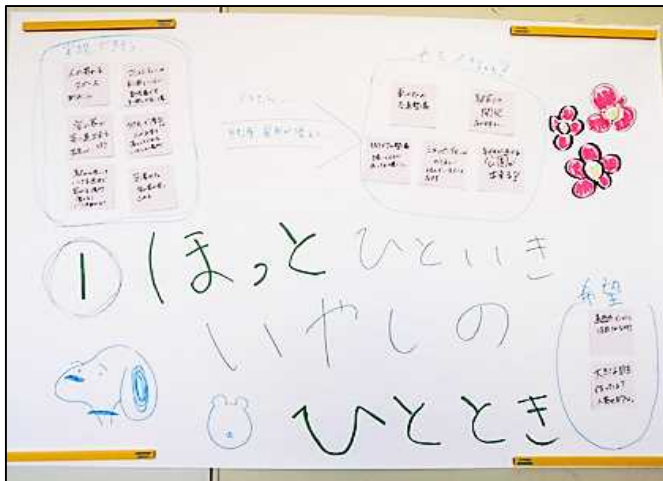
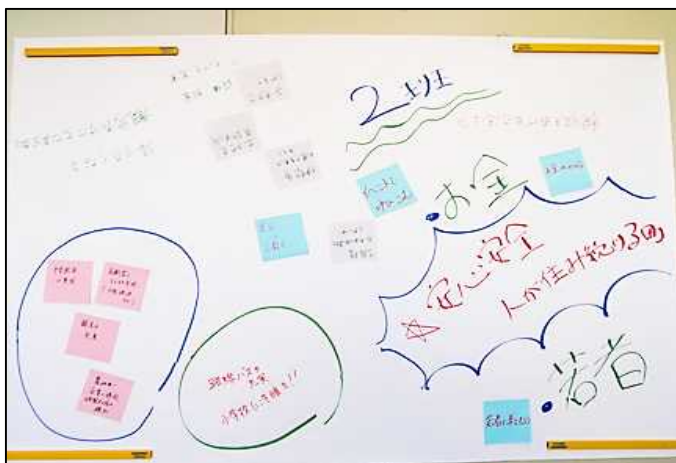


■ 1 / 2 1 市民向けワークショップ 各グループのまとめ



テーブル①
〈ほっとひといき いやしのひととき〉

- ・登山客や人が立ち寄れる足湯カフェや温泉・地元で屋台
- ・新参者でも利用しやすい場
- ・通過点ではなく、注目される街
- ・車以外の交通
- ・街灯の整備
- ・子どもが遊べる公園
- ・駅前の開発



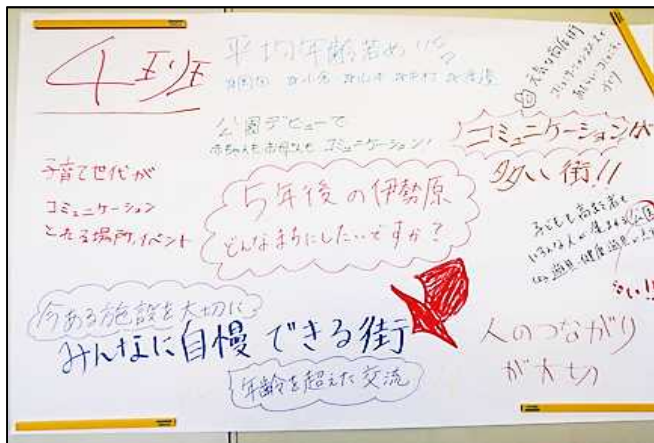
テーブル②
〈安心安全 人が住み続ける町〉

- ・安心安全
- ・路線バスの充実
- ・若者に来てもらう



テーブル③
〈住みやすい町〉

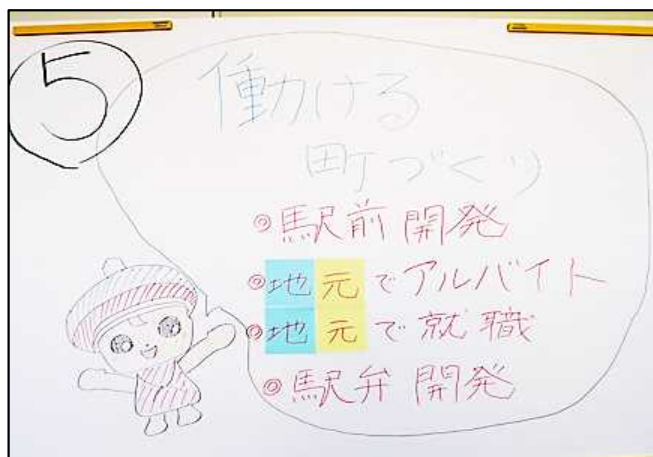
- ・車がない人にも優しい町
- ・歩いて楽しめる
- ・高齢者に優しい町
- ・伊勢原の良いところを全面的にアピールする(大山だけではない)
- ・他市との差別化



テーブル④

〈今ある施設を大切に みんなに自慢できる街 年齢を超えた交流〉

- ・人とのつながりが大切
- ・コミュニケーションが多い街
- ・年齢を超えた交流
- ・子育て世代がコミュニケーションがとれる場所やイベント
- ・元気な商店街(コミュニケーションスペース)



テーブル⑤

〈働ける町づくり〉

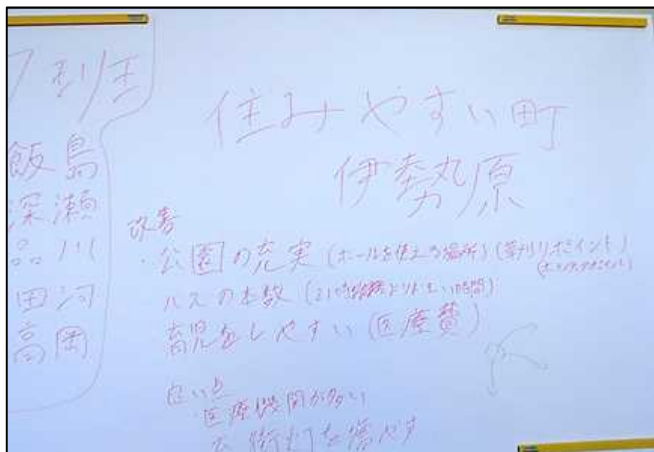
- ・働けるまちづくり
- ・地元でアルバイトができる
- ・地元で就職できる
- ・駅前開発
- ・駅弁開発



テーブル⑥

〈人とのコミュニケーション〉

- ・人とのコミュニケーション
- ・人と人がつながるイベント
- ・働けるところを増やす
- ・バスを増やす
- ・フィルムコミッションでもっとPRする
- ・伊勢原市として色々なイベントに行く
- ・お祭りの回数を増やす
- ・娯楽施設を増やす



テーブル⑦ 〈住みやすい町伊勢原〉

- ・公園の充実(ボールが使える場所)
- ・公園の草刈りなどのボランティアポイント制度
- ・バスの本数を増やす
- ・育児しやすい



テーブル⑧ 〈観光・移住・定住すべてにおいて バランスのよい町〉

- ・若者が住みたいまち、働きたいまち、行きやすいまち
- ・子育てしやすいまち
- ・ふと立ち寄りしたいまち
- ・歴史と観光の融合